

福島工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	社会科学Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0032		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義・演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科		対象学年		2		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	授業時に配布するプリントを教科書の代わりとする。						
担当教員	川崎 俊郎						
到達目標							
①歴史的事実から資本主義を理解する。 ②資本主義社会に対応した企業を歴史的に理解する。 ③世界経済におけるヘゲモニーの推移を理解する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
基礎的能力		歴史的事実を踏まえて、複数の事 実間の関係を説明できる。		歴史的事実について、その概要を 説明できる。		歴史的事実について、その概要を 説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A)							
教育方法等							
概要		産業革命以降の世界の歴史を、経済を中心に学習する。					
授業の進め方・方法		授業は配布プリントを中心に進めるので、なくさずに必ずファイルする。 また、課題・レポートは指示された期限・様式などを厳守する。 定期試験の成績を60%、課題を40%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。					
注意点		授業は配布プリントを中心に進めるので、なくさずに必ずファイルする。 また、課題・レポートは指示された期限・様式などを厳守する。 定期試験の成績を60%、課題を40%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	産業革命 1		商業革命、産業革命の前提条件		
		2週	産業革命 2		産業革命の内容と影響		
		3週	資本主義		アダム・スミスの経済思想		
		4週	第二次産業革命		第二次産業革命の特徴、工業国の変化		
		5週	企業社会の登場		近代的企業、水平統合と垂直統合 アメリカ企業の特徴		
		6週	資料演習 1		統計数値の読み取り		
		7週	第一次世界大戦		帝国主義の限界、 経済面から見た総力戦		
		8週	社会主義		マルクスの経済思想、 社会主義と資本主義との比較		
	4thQ	9週	大恐慌		大恐慌の原因、大恐慌の影響		
		10週	修正資本主義		ニューディール政策の内容と効果 ケインズの経済思想		
		11週	資料演習 2		統計数値からのグラフの作成と 読み取り		
		12週	第二次世界大戦		ブロック経済、保護貿易と自由貿易		
		13週	パクスアメリカナ		アメリカを中心とした国際経済 米企業の多国籍化		
		14週	基軸通貨ドルの動揺		石油ショック、日米欧の関係の変化		
		15週	まとめ		世界経済を見る眼		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会 科学	社会	地理歴史的 分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。		3	
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。		3	
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。		3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。		3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。		3	
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0